

<基本方針>
 ○江戸川区立小・中学校「読書科」の考え方 (H26・8)
 ○これからの学校図書館の整備充実について (H28・10)
 ○新学習指導要領改訂 (令和2年4月)

学校教育目標
 しなやかな子 (知)
 おだやかな子 (徳)
 すこやかな子 (体)

前年度の成果と課題
成果 探究的な学習に必要な本との関わりがもてるようになった。
課題 ふたばタイムの時間に、計画的に活用したり実践したりすることが難しかったため、より充実した利用を図る。

学校図書館の目標
 ○読書の楽しさや価値を実感し、読書を広げたり深めたりし、読書生活を豊かにする
 ○「読書」を中核として、問題を発見・解決するため必要な学び方（「学びのたね」）を学ぶ

目指す子ども像
 ○主体的に読みすすめる子ども
 ○問い続ける子ども
 ○相手意識をもち表現できる子ども

つきたい力
 ○学びに向かう力・人間性の涵養
 ○生きて働く知識・技能の習得
 ○思考力・判断力・表現力の育成

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・本を読んで、さらに調べたいことを考える。	第三学年	・様々な種類の本に興味をもち、読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・本を読んで、課題を解決する能力を高める。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・様々な種類の本に興味をもち、読もうとする。	第四学年	・本を使って自分の問いを解決する能力を高める。 ・調べたことを基に分かりやすくまとめることができる。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・本を読んで、課題を解決する能力を高める。

具体的な取り組み

<p>〔各教科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。 ○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。 ○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。 	<p>〔読書科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館の利用指導を年度初めに行う。 ○ 本を読んだことを基に問いを立て、本を使って自分の問いを解決する学習を展開する。 ○ 探究プロセスの課題設定、情報収集で問いのレベルにあった本を選書する。
<p>〔総合的な学習の時間〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方や考え方を身につける。 ○ 課題の解決、探究に主体的に取り組む。 ○ 系統的に情報活用能力を育成する。 	<p>〔特別活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。 ○ 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。
<p>〔特別の教科 道徳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。 	<p>〔家庭・地域との連携〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年2回の読書週間による親子読書の推進。 ○ 公立図書館と連携し団体貸出の利用を行う。 ○ 学校応援団による読み聞かせ、環境整備。